

野球殿堂入り表彰式 ~競技者表彰~

館長 庄司正信



古田敦也氏、髙津臣吾氏、斉藤 惇理事長、山本昌広氏、大野雄大選手

競技者表彰で野球殿堂入りされた 髙津臣吾さん、山本昌広さんの表彰 式を、7月26日に福岡 PayPayドーム で行われたオールスターゲーム第1戦 の試合開始前に行いました。

競技者表彰・プレーヤー表彰で選 出された髙津さんは、1990年ドラフト 3位でヤクルトスワローズに入団。93 年から抑えに定着し、サイドスローの 守護神として93、95、97、2001年 の日本一に貢献されました。また03 年には当時の通算最多セーブ記録 を更新しました。04年に大リーグの シカゴ・ホワイトソックスに入団し、同

年19セーブを挙げる活躍を見せました。06年ヤクルトに復帰、日米通算300セーブを達成しています。以後、韓国、台湾、 独立リーグなどでもプレーし、引退後は20年よりヤクルトの監督を務め、21年にはチームを20年ぶりの日本一に導きました。

山本さんは、1983年ドラフト5位で中日ドラゴンズに入団。アメリカで習得したスクリューボールを武器に、93年には17勝 を挙げ最多勝利、最優秀防御率、最高勝率のタイトルを獲得しました。翌年も最多勝利を獲得し、沢村賞を受賞しました。 2006年には史上最年長(41歳1ヶ月)でノーヒットノーランを達成するなど、リーグ優勝に貢献されました。08年に通算200 勝、14年に史上最年長勝利(49歳0ヶ月)、史上初めての50歳代での登板(50歳1ヶ月)などを記録されました。

セ・リーグ、パ・リーグ両軍の選手・監督・コーチがベンチ前に整列し、髙津さん、山本さんが大型ビジョンでの映像 紹介とともに登場されました。始めに、野球殿堂博物館・斉藤 惇理事長より記念のレリーフのレプリカが各々に贈られま した。

次に、高津さんにはスワローズの先輩である古田敦也さんから、山本さんにはドラゴンズの後輩である大野雄大選手か ら花束が贈呈されました。記念撮影に続く挨拶で、髙津さんは、「野村(克也)監督には、野球の難しさ、楽しさ、そ して厳しさを(教わり)、沢山の球を受けていただいた古田さんには、本当に人として、野球人として大きな成長をさせ ていただきました」との言葉があった後、スワローズの選手に対し感謝の気持ちを述べられました。続いて山本さんより、 「両親に強い体に産んでもらい、そして家族の支えがあってここまで来られたと思います」と挨拶があり、これからも野球 の発展に貢献したいとの決意が語られました。

最後に改めて、満員の客席から受賞されたお二人に対し大きな拍手が送られました。控室での高津さん、山本さん、 古田さん、お三方の関係がわかるような和気藹々としたやりとりそのままに、アットホームな表彰式でした。

髙津さん、山本さん、野球殿堂入りおめでとうございます。



野球殿堂入り表彰式 ~特別表彰~

館長 庄司正信

特別表彰委員会選出の故・松前重義さんの野球殿堂入り表彰式を、明治神宮野球場において6月12日に行われた全日本大学野球選手権大会の亜細亜大学対上武大学の決勝戦開始前に開催しました。

松前さんは、1946年に旧制東海大学、50年に新制東海大学を開校。52年より理事長、学長、総長などを歴任されました。64年には東海大学をはじめとする7大学で首都大学野球連盟を設立し、初代会長に就任。ソ連や東欧諸国との民間外交にも積極的に取り組み、モスクワ大学に松前記念スタジアムを寄贈するなど、野球の国際化にも尽力されました。また、日本学生野球協会副会長などの要職も歴任し、学生野球の発展に貢献されました。

梅雨入りで天候が心配されましたが、表彰式は観衆が見守る中、マウンド付近で行われました。大型ビジョンには松前さんを紹介する画像が流れ、場内アナウンスで功績を紹介する中、松前さんのご親族でもある東海大学学長・山田清志さんがグラウンドに立たれました。

はじめに、野球殿堂博物館・斉藤 惇理事長より記念のレリーフのレプリカ、全日本大学野球連盟の長谷山彰会長からは花束が贈られました。記念撮影に続き、山田さんより関係者に対しての御礼と、野球を通して東西冷戦の緩和に努めた松前さんの功績が述べられました。そして「世界はいま分断の危機にあるが、我々もスポーツ、文化、芸術を通じて国際社会に橋を架けるという遺志を継いで参りたい」と決意を語られました。

表彰式の間は雨も降らず、無事に式を終えることができました。

改めまして、松前家の皆様おめでとうございました。また全日本大学野球連盟の皆様を始め、関係者の方々に ご協力いただき、ありがとうございました。



左から 斉藤 惇理事長、山田清志氏、長谷山 彰氏

《2022年野球殿堂入り特別展》

■会期:2022年7月23日(土)~10月30日(日)予定

■会場:野球殿堂ホール

今年新たに野球殿堂入りされた髙津臣吾氏、山本昌広氏、松前 重義氏の野球殿堂入りを記念して、「2022年野球殿堂入り特別展」 を開催します。三氏ゆかりの資料や写真等を展示し、経歴などを ご紹介します。







殿堂入りの人々を語る(72)

松前重義と野球

松前達郎(2022年野球殿堂入り

この度、父・松前重義が野球殿堂入りの栄誉にあずかり、心より感謝申し上げ ます。とりわけ野球を通じた国際交流や人材育成への貢献が評価されましたこと は、東海大学、国際武道大学をはじめとする学園関係者の大きな喜びとするとこ ろです。

松前重義 氏

父・重義が生涯愛したスポーツが柔道と野球でした。柔道は国際柔道連盟会長 として、その国際化や女子柔道の普及に努めました。一方、野球においては、高校野球の振興、大学野球のす そ野を広げる首都大学野球連盟の設立、東西冷戦下での野球による国際交流の推進、さらに野球をオリンピッ ク種目に導くための活動など、多くの事柄に尽力いたしました。

重義が、これほどまでに柔道や野球に情熱を注いだのは、スポーツの公平性や国際性に大きな可能性を見出 していたからにほかなりません。「スポーツは人類平和の先駆者である。人類が切望し続けている国際平和実 現のための使命をスポーツは担っている」と述べ、20世紀末の冷戦時代にあってもスポーツによる民間外交 に努めました。

その一つとして、アメリカの野球関係者から野球のオリンピック正式種目採用への協力要請を受けた重義は、 さまざまなチャネルを通じて、相互理解の促進、野球の国際化に尽力しました。その後、野球はオリンピック 種目として 1992 年バルセロナ大会より正式に採用されました。重義の野球と国際平和への情熱に共鳴する多 くの方々の協力がその道を開いたといえるでしょう。

重義が野球に興味を持ったのは、東北帝国大学(現東北大学)時代のことと思われます。それまでは柔道一 直線でした。当時、大学野球の人気は高く、東北帝大でも野球部があり、時には参戦することもあったようで す。卒業後、逓信省(郵便・通信事業を管轄する省庁)に入省すると、我が国の多重通信の先駆けとなる無装 荷ケーブル通信方式の開発に携わることになり、欧米の通信技術の視察に派遣された際、アメリカ・ニュー ヨークのヤンキー・スタジアムでヤンキースの試合を観戦したそうです。この時、重義はアメリカと日本の国 力の違いを目の当たりにしたといいます。

やがて、日米戦争が始まりますが、国力の違いを痛感していた重義は、日米の生産力の科学的な比較調査に よって、この戦争の無謀さを訴えたことで、42歳にして南方の激戦地へ二等兵として懲罰召集され、戦後も 公職追放という激動の人生が待ち受けていました。

ただ、公職追放期間、武蔵野市の自宅で過ごした父は、私や弟たちとキャッチボールができることを何より も楽しんでいた様子でした。

同じ頃、自宅近くでは空襲で破壊された中島飛行機の武蔵野製作所跡地の再開発が進められ、市から開発会 社の社長を委嘱されます。そこで、重義は野球場を中心としたスポーツ公園、いわばボールパークの建設とい う斬新なプランを提案し、東京スタディアム(武蔵野グリーンパーク)を完成させます。この球場は国鉄スワ ローズ(現東京ヤクルトスワローズ)の本拠地とすることが構想され、プロ野球や大学野球に利用されました が、残念なことにその後計画は頓挫し、球場は短命のまま解体されました。

このように、父・重義には、先見性と歴史を大観する発想の大きさがありました。私利私欲ではなく、常に 人類と世界を視野に行動する、それが、松前重義の人間的魅力として多くの人を引き付け共感されたのではな いでしょうか。今日、私たちは極めて厳しい世界情勢の中にいます。それだけに松前重義が理想とした国際的 な平和への願いを継承していかなければならないと、この栄誉を機に改めて強く思う次第です。



知ってほしいこんな資料(97)

野球伝来150年記念展「第3期 1989-2022 国際化、そして未来へ

●会期/2022年7月15日(金)~9月25日(日) ●会場/野球殿堂博物館 企画展示室

野球殿堂博物館では、2022年の「野球伝来150年 | を記念し、150年を3期に分け、150のキーワードで日本の野 球史を振り返る展示を開催しています。

第3期の今回は1989年から2022年までを取り上げます。日本人メジャーリーガーの活躍やオリンピック、WBCによ り国際化が進む一方で、国内では球界再編問題や交流戦の開催、2度の大震災、プロアマー体となった侍ジャパ ンの誕生等、大きな出来事が続きました。しかし、そうした変化の時代の中でも、日本中の注目を集めるようなスター 選手の誕生が続いています。

キーワードの中から3つを紹介すると「48. 東京2020金メダル」では、五輪正式種目で初の金メダルを獲得した野 球日本代表の活躍を振り返り、決勝戦のウイニングボール、大会MVPを受賞した山田哲人選手のユニホームに加 え、7月23日から8月31日までの期間限定で、坂本勇人選手の金メダルも特別展示しました。「49. 二刀流」では、大 谷翔平選手の2013年プロ初先発初登板第1球や北海道日本ハム時代の資料を展示しています。「50. 完全試 合 | では、2022年4月10日、完全試合及び13連続奪三振日本新記録を達成した佐々木 朗希投手(千葉ロッテ)が この試合で着用したユニホーム等を展示しています。

次の50年、100年に向け、平成、令和の野球界の歩みを50のキーワードと貴重な関連資料で振り返る展示となっ ています。ぜひご覧ください。

> 学芸員 関口貴広





聖地·名所150選

日本野球機構(NPB)、全日本野球協会(BFJ)が主催し、当博物館を含む野球界の各団体が協力して実施 されている「野球伝来150年記念事業」のひとつ。「聖地・名所150選」は、一般の方からの公募や日本の各野球 関係団体などから寄せられた多数の候補地の中から、NPB、BFIと当博物館の協議により認定 されました。当博物館と鎮魂の碑が150選に認定されています。

2022年7月23日(土)から、全国の認定地を巡る、モバイル端末によるスタンプラリーを開催中です。 ぜひご参加ください。聖地・名所150選のリスト、スタンプラリーのアプリダウンロードはこちら



·····





こんにちは図書室です

『公認野球規則』誕生の場所



今から66年前の1956年に『公認野球規則』が発行されました。それまでプ ロ野球とアマチュア野球はそれぞれ独自の野球規則を使っていました。しかし、 プロ・アマ問わず日本の野球界のどの部門でも通用する野球規則があってもい いのではとの声があり、プロ・アマが共通の規則を作るために動きだしました。

55年12月26日、プロ野球とアマチュア野球のそれぞれの規則委員たちが集 まったのは日比谷の中華料理店・陶々亭です。

陶々亭は19年に創業し、芥川 龍之介の『一夕話』の文中にその名前が登 場するなど有名で、野球ともゆかりのある場所でした。37年2月5日に行われた日 本職業野球連盟結成一周年記念祝賀会は、この陶々亭で行われました。「連 盟ニュース 第12号」(37年2月25日発行)には、大隈信常総裁をはじめ八十 名程の人が参加する盛大な祝賀会の様子が記されています。

プロ・アマの規則委員が初めて一堂に会した陶々亭での場面を、島 秀之助 (89年殿堂入り) は自著『白球とともに生きて』(88年、ベースボール・マガジ

ン社発行)でこう語っています。

"私はいまでも、あの日の陶々亭の一室での奇妙な光景が忘れられない。私たちプロ側の委員が入ってい くと、先に来ていたアマチュア側の委員諸氏が、部屋のすみにひとかたまたりになって輪をつくっていた。私 には顔なじみの人もいたが、初めて見る顔もあった。そうするのが自然の行動のように、プロ側も部屋の片 すみに寄って輪をつくった。たたみの部屋で、ふたつの輪のまん中には細長く食卓がならんでいた。"

中華料理に箸をのばしながら、第1回野球規則委員会・編纂委員会の日程やその進め方、委員が決まり ました。

第1回野球規則委員会・編纂委員会は56年1月6日に本郷の旅館天龍で 行われました。委員はプロ側が山内 以九士 (85年殿堂入り)、横沢三郎 (88年殿堂入り)、島 秀之助、二出川 延明 (70年殿堂入り)、萩原兼顕、 柳原 基の6名で、アマ側は相田暢一(14年殿堂入り)、小川 正太郎(81 年殿堂入り)、神田順治、久保田 高行、坪井忠郎、鈴木美嶺(17年殿堂 入り) 山本 英一郎(97年殿堂入り)の7名、計13名の委員で行われました。

島 秀之助は旅館天龍について前出の自著に、"後楽園球場から本郷一 丁目に出る壱岐坂を登って途中から左に折れたところにある天龍旅館がそ の会場になったように記憶している。"と書いています。

委員会では、プロ・アマそれぞれの条項を突き合わせて進められました。 完成した『公認野球規則』(56年)のはしがきには以下のように書かれて います。

"ただ一つの規則が日本の野球界にでき上ったということは野球史上画 期的なことであるという喜びを以て本書を諸兄に贈る次第である"

陶々亭の場所は、現在の日比谷公園有楽門の反対側付近にあり、現在 は新しいビルが建設中となっています。また、旅館天龍は、その後もたび たび野球規則委員会・編纂委員会の場所として使われていましたが、94 年には地図からその名前が無くなり、現在は東洋学園大学の一部となって います。 司書 永沼 里菜子・茅根 拓



公認野球規則 1956年 はしがき

■図書室の開室時間

図書室は事前予約制です。詳しくは、https://bml.opac.jp/opac/top でご確認下さい。



野球殿堂博物館 トピックス



2月22日「eBASEBALLプロスピAリーグ」 2021シーズン関連資料贈呈式開催!

「eBASEBALLプロスピAリーグ」(通称:スピリーグ)は、モバイルゲー ム「プロ野球スピリッツA」を使用した、日本野球機構(NPB)とコナミデ ジタルエンタテインメント共催のプロ野球eスポーツリーグです。今回、 2021シーズンの関連資料を、最優秀選手の渡邊太智選手(広島東洋 カープ)や主催者よりご寄贈いただきました。

3月12日「第6回 野球で自由研究!コンテスト」入選作品を表彰!

「第6回 野球で自由研究!コンテスト」を、小学生を対象に開催しました。

2021年8月1日~11月30日の期間、野球をテーマとした自由研究の作品を募集し たところ、過去最高となる251作品の応募がありました。

審査員による厳正な審査の結果、最優秀賞には神奈川県の小学5年生、塚本皐太 さんの「失点へらしてめざせ勝利」が選ばれました。



失点へらしてめざせ勝利

塚本 皐太さん (5年生) 神奈川県



4月1日「ベストショット オブ ザ イヤー2021」 サンケイスポーツ新聞・松永渉平カメラマンを表彰!

企画展「野球報道写真展 2021」の来館者によるファン投票「ベストショット オ ブ ザ イヤー2021 で、最多の189票を集めた「金メダルの記念撮影 | を撮影され たサンケイスポーツ新聞・松永渉平カメラマンの表彰式を、野球殿堂ホールで行い ました。





4月23日開幕記念トークイベント 「2022年の野球規則改正」を開催しました!

4月23日、NPB野球規則委員の井野 修氏をお迎えし、2022年の野球規則 改正についてお話いただきました。

千葉ロッテの佐々木 朗希投手が完全試合を達成した後ということもあり、完 全試合やノーヒット・ノーラン達成試合を裁いた審判の心理状況などのエピソード を交えながら、野球規則について分かりやすく解説していただきました。また、質問 コーナーでは、参加者からのご質問に、一つ一つ丁寧にお答えいただきました。

球団特集展示

~読売ジャイアンツ、日本ハムファイターズ~

「読売ジャイアンツ特集展示 強打者の系譜」を、2022年2月26日~3月27日 の期間で開催し、読売ジャイアンツの歴代の強打者の系譜を、使用した用具 や関連資料を通じてご紹介しました。また、4月5日~5月8日の期間で、「東京 時代のファイターズ」と題し、日拓ホーム・フライヤーズから日本ハム・ファイター ズとなった1974年より、2004年の北海道移転までの中心選手たちのユニ ホームや用具等を展示しました。



野球般堂博物館

入館者600万人記念

野球殿堂博物館 トピックス

6月5日 開館以来の通算入館者数が600万人に到達しました!

1959年6月12日の開館以来の通算入館者数が、6月5日に600万人に到達しました。記念すべき 600万人目のお客様には、当館から記念品として、2022年殿堂入り 髙津臣吾氏・山本昌広氏のサイン 入り大型ボール、当館オリジナルグッズの詰め合わせを贈呈させていただきました。また、600万人到達の 翌6月6日~6月12日まで、入館料半額キャンペーンを実施しました。



イベント第1弾 7月10日 「こんなグラブでボールを捕っていた!? | 開催

野球殿堂博物館とNPBのコラボレーションによる、野球の普及振興のための新たな枠組み。

イベント第1弾として、7月10日に「こんなグラブでボールを捕っていた!?」を開催。前読売ジャイアンツコーチの片岡保幸氏を講師に

お招きし、抽選で選ばれた18組36名の親子が 参加しました。博物館職員からグラブの誕生と変 遷をお話ししたあと、80~90年くらい前のグラブ (レプリカ)での捕球の仕方やキャッチボールの コツを片岡さんから実演を交えお話しいただきま した。そして、昔のグラブを実際に使って、片岡さ んとのキャッチボールを体験してもらい、野球の 歴史や用具と技術の進化を肌で感じていただき ました。





イベント第2弾 7月20日~8月28日 「野球で自由研究! 2022 |

夏休み編として「野球で自由研究!2022」を開催。【イベント】、【展示】、【お悩み相談コーナー】の複合企画で、小学生が野球をテ・ マとした自由研究を楽しくできるようお手伝いしました。

【イベント】は、メンタル、変化球、スコア、ストレッチやトレーニング、審判、バット、グラブの7種類を実施。各分野の専門家が詳しく、楽し く教えてくれました。3年ぶりの対面開催で行うイベントや、遠隔地からも参加しやすいオンライン開催のイベントも実施しました。

【展示】は、当博物館のイベントホールにて、「用具の今昔」をテーマに、バット、グラブ、ユニホームの進化を実物を通じて紹介しました。 【お悩み相談コーナー】は、自由研究のテーマの決め方から、調べ方、資料紹介まで博物館スタッフがサポートしました。

「第7回 野球で自由研究!コンテスト| 作品募集!

今年も野球をテーマにした小学生の自由研究を対象に、「第7回 野球で自 由研究!コンテスト」を開催いたします。野球をテーマに自由研究をしてい る小学生は、ぜひご応募ください。応募者全員に参加賞をお送りします。

●応募作品:野球に関することを調べた作品。

学校に提出したものでも構いません。

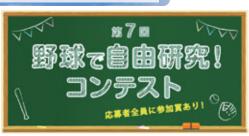
※小学生のオリジナル作品に限ります。

※絵のみ、工作のみの作品はご遠慮ください。

※壊れやすいものや危険物、輸送や保管が難しいものの出品は、お断りします。

- ●応募期間:2022年8月1日(月)~2022年11月30日(水)(当日の消印、または宅配便受付有効)
- ●結果発表:2023年3月に、当館ホームページで受賞作品を発表。一部作品を館内で展示いたします。

詳しい申込方法等については、右記ホームページをご覧ください▶https://baseball-museum.or.jp/jiyu-kenkyu/contest/



Baseball Museum



Newsletter

野球殿堂博物館 公式グッズショップ

掲載以外の商品も オンラインショップに あるよ!





ポストカード

販売価格:各100円(税込)

今年殿堂入りされた、髙津臣吾氏、山本昌広氏の ポストカードが新たに加わりました。当館受付及び オンラインショップで販売しておりますので、ぜひ お求めください。







かっとばし(木目・茶)

販売価格: 各1,300円(稅込)、

茶・木目セット2,500円(税込)

折れたバットのリサイクル商品「かっとばし」 の博物館オリジナル商品です。オリジナルの マークとロゴを入れ、それぞれこげ茶と木目 調に仕上げました。

●マグカップ(紺・水色)

販売価格: 各1,350円(稅込)

バットとボールをモチーフにした、当館オリジナルのマグ カップです。重ねられるスタッキングタイプになります。 ※この商品は、一つ一つ手作業で色を塗布しております。 そのため、多少色合いが異なる場合がございます。



●ラバーコースター(緑・クリーム)

販売価格:各600円(税込)

〈オンライン限定〉緑・クリームセット1,100円(税込)

今年から販売している新商品です。 当館オ リジナルのラバー製コースターで、サイズ、 値段ともにご家庭用にも、お土産用にもお ススメの商品です。





博物館からのお知らせ

▶第1回理事会(5月24日開催)

- 議題1. 2021年度事業報告・決算報告・監査報告の承認に ついて
 - 2. 特定資産取崩について
 - 3. 会議日程等の承認について
- 報告1.業務執行理事の職務の執行状況について
 - 2. 職員退職について
 - 3. NPB とのコラボレーション企画について

▶定時評議員会(6月20日 WEB会議)

- 議題1.2021年度貸借対照表及び損益計算書(正味財産増 減計算書) の承認について
 - 2. 役員報酬減額終了の承認について
 - 3. 定款変更について
- 報告1.2022年度事業計画及び収支予算について
 - 2. 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について
 - 3. 職員退職及び採用について
 - 4. その他

▶新職員紹介

太田若葉(おおた わかば)

1995年9月26日生まれ 静岡県出身

2018年 東京学芸大学 初等教育教員養成課程 国語選修卒業

2020年 明治大学大学院 文学研究科 日本文学専攻 修了

2022年 明治大学大学院 文学研究科 日本文学専攻 博士課程 存籍

2022年7月1日より、当館の事業部に勤務

どうぞよろしくお願いします。

▶訃報

2007年野球殿堂入り・松永怜一氏が5月12日に逝去されま した。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

当法人の前理事長・熊﨑勝彦氏が5月13日に逝去されました。 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

▶退職

の

ご

事業部・学芸員の井上裕太が4月30日付で退職しました。

東京ドーム21ゲート右 開館時間 平日 13:00~17:00 (最終入館16:30) 博 土・日・祝 10:00~17:00 (最終入館16:30) 物 ※東京ドームでプロ野球が開催される日は、 館 18:00閉館(最終入館17:30)

大 入館料 人 600円

高・大学生 400円 小・中学生 200円

6.5歳以上 400円

月曜日(祝日、東京ドームでのプロ野球開催日、春・ 夏休み中は開館)、年末・年始(12月29日~1月1日)

※休館日及び開館時間は変更する場合がございますので、事前 に当博物館ホームページにてご確認下さい。

●編集後記 今回、コロナ前と同じような形で表彰式が開催できました。来年 も大勢の観客が見守る中で、開催できることを願うばかりです。次回のニュース レターは、2023年1月の野球殿堂入り発表後に発行の予定です。

野球殿堂博物館 Newsletter 第32卷 第2号

2022年8月31日発行

編集·発行 公益財団法人 野球殿堂博物館 〒112-0004 東京都文京区後楽1-3-61 Tel 03 (3811) 3600 Fax 03 (3811) 5369 http://www.baseball-museum.or.jp/

